

2024年8月9日

報道関係各位

漢方や生薬について学ぶ出前授業を初開催

～小学生を対象にハーバリウム作りや農場・工場見学を実施～

株式会社ツムラ（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：加藤照和、以下当社）は、地域の子どもたちに漢方薬や生薬について学んでいただくと同時に、地域産業に興味関心を持ってもらうことを目的として、7月27日（土）と31日（水）に北海道滝川市（会場：滝川市役所）と静岡県藤枝市（会場：ツムラ静岡工場）にて、出前授業を初めて開催いたしました。



1.開催概要

本企画は、地元の子どもたちに漢方や生薬について学んでいただくと同時に、地域産業に関心を持ってもらおうと開催したもので、小学4年生から6年生とその保護者を対象に今年初めて開催し、75名（滝川会場：35名、静岡会場：40名）に参加いただきました。当日は、漢方の考え方や漢方薬がつくられるまでの工程などについて学ぶ授業の実施や、生薬を使ったハーバリウム作りを行いました。滝川会場では生薬が栽培されている農場（夕張ツムラの滝川農場）を見学した他、静岡会場では漢方製剤の製造工程を見学するプログラムをそれぞれ実施いたしました。

自然と健康を科学する

お問い合わせ先

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション室 広報グループ 担当：瀬戸、吉崎
〒107-8521 東京都港区赤坂 2-17-11 TEL.03-6361-7100 FAX.03-5574-6630

2.開催経緯

当社は2018年5月に北海道滝川市と、市内の地域農業の振興や薬用作物の栽培の普及、漢方による健康増進などを目的とした地域連携協定を締結しており、その一環として滝川市で出前授業を開催する運びとなりました。また、静岡での開催経緯としては、当社の静岡工場が今年で竣工60周年を迎えたことから、地域の皆さまへの日頃の感謝を伝えるとともに、工場での取り組みや製造している漢方薬に興味を持っていただきたいという思いから出前授業の開催に至りました。

3.プログラム内容

- ①漢方について学ぶ出前授業：当社の社員が漢方の考え方や、漢方薬の製造方法、西洋薬との違いなどについて、クイズを交えながら説明いたしました。
- ②生薬を使ったハーバリウム作り体験：カッコンやヨクイニンなど4種類の生薬と色鮮やかなドライフラワーを使ったハーバリウム作りを実施いたしました。
- ③農場見学と工場見学：滝川会場では、当社のグループ会社である夕張ツムラが管理する生薬「トウキ」を栽培する農場を見学しました。静岡会場では漢方薬を製造する工場を見学し、最先端のロボット技術を活用した工程の様子を見学いたしました。





当社は漢方薬の原料となる生薬の主要な調達拠点として国内に6拠点、製造工場として茨城県と静岡県に生産拠点を有しております。今後もより多くの方々に漢方を身近に感じていただき、地域振興に貢献できるよう、こうした取り組みを積極的に推進してまいります。

■夕張ツムラ

夕張ツムラでは、北海道を中心に漢方薬の原料である生薬を生産しております。生薬生産は、薬用作物の栽培から始まり、加工調製されて製品となるまで、多くの工程が必要です。より良い品質の製品を提供するため、地域の生産団体の皆さまをはじめ、行政、研究機関、関係企業の方々とともに、生薬生産事業の発展に取り組んでおります。



■ツムラ静岡工場

医療用漢方製剤の生産を開始した最初の工場です。少品種大量生産に特化した茨城工場に対し、静岡工場は多品種少量生産の役割を担っております。医療用漢方製剤だけでなく、一般用医薬品、刻み生薬の生産ラインを備え、創業当時から100年以上販売されている「中将湯」は、静岡工場生産しております。



以上